

令和3年度 雄武町の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用内容

(単位:千円)

No.	事業名	事業内容(使途)	補助単独	事業開始年月日	事業完了年月日	計画総事業費	交付金対象実績事業費	交付金充当額	実施実績	効果検証
1	行政手続き押印見直し委託業務	新しい生活様式に対応するため、「行政手続きのT化、オンライン化」を進める第一歩として、例規上の申請書や内部事務手続上の書類における署名、押印の廃止及び存続等の整理を業務委託しました。	単独	R3.4.12	R4.3.24	2,970	2,970	2,000	委託業務: 基準作成136,000円 対象例規抽出1,239,000円 例規整備支援1,242,000円 資料作成353,000円	内閣府が謳う「新しい生活様式」の実現に向け、書面規制や押印、対面規制を見直す足掛かりになり、手続きそのもの(身分証明書の提示、様式、印鑑の必要性、実施手順など)を見直すため、例規上の申請書や内部事務手続上の書類など行政手続にかかる書類について、署名・押印の存続等の整理を行うことができました。
2	衆議院議員選挙費	選挙人同士の距離を確保するため、3連の記載台と各投票所に設置するパーテーション及び消毒用品を購入しました。	単独	R3.4.12	R3.11.24	619	619	400	記載台8台=328,680円 パーテーション30個=39,000円 使い捨て筆記具4,000本=29,700円 消毒液30個=26,400円 ゴム手袋1,100双=27,654円 不織布マスク50入=5,500円 除菌シート1,500入=19,800円 ソーシャルディスタンス丸形マット20枚=143,000円	投票日は各投票所において記載台を追加したことで、コロナ禍でも選挙人同士が十分な間隔を保つことができ、パーテーションと消毒用品を充実させ、感染症対策を図ることができました。
3	庁舎談話室ネットワーク環境構築事業	コロナ禍で各種会議及び研修、説明会がZOOM等、WEB開催の増加に伴い、対応した執務室を役員庁舎内に常設するためのネットワーク環境構築工事などを行いました。	単独	R3.4.12	R3.9.16	2,090	2,090	1,800	LAN配線工事=308,000円 専用パソコン4台=811,000円 会議用モニター2台=971,000円	ウェブ会議などに対応した執務室を完備したことで、コロナ禍で増加したウェブ会議やオンライン研修等に、より参加しやすくなりました。
4	雄武町介護サービス事業特別会計繰出金	高齢者福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策のひとつとして、特別養護老人ホーム(ショートステイ棟)及びデイサービスセンターへの冷房設備(エアコン)の工事を行うため、事業会計へ繰出金を支出しました。	単独	R3.4.12	R4.3.24	16,335	16,335	15,000	雄武町介護サービス事業特別会計繰出金 16,335,000円	繰出金を活用して、特別養護老人ホーム(ショートステイ棟)及びデイサービスセンターへの冷房設備(エアコン)の工事を行うことができ、施設利用者、職員などが、コロナ禍でも施設内で快適に過ごすことができ、かつ利用者の体調管理等もより行い易くなりました。
5	雄武町子育て応援事業	国の特別定額給付金の基準日の翌日から令和4年4月1日までに出生した新生児のいる世帯へ、新生児特別給付金を給付し、子育てに係る経済的負担軽減を図りました。	単独	R3.4.12	R4.3.18	1,700	1,700	1,200	給付金1人あたり100,000円×17人=1,700,000円	令和2年度に続き、子育て世帯を支援するため給付金を給付したことで、コロナ禍における経済的負担の軽減に寄ることができ、子育て世帯が抱える経済的な不安解消の一助となりました。
6	雄武町医療機関等支援金交付事業	町内医療機関等の安定的な事業運営に向け、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のために各機関へ支援しました。	単独	R3.4.12	R3.6.9	1,700	1,700	1,700	医科診療所 1,000,000円 歯科診療所 500,000円 調剤薬局 200,000円	関係機関へ一定の支援を行ったことで、コロナ禍におけるそれぞれの機関の事業運営と感染拡大防止対策を図るうえでの一助となりました。
7	新型コロナウイルス感染症対策「地域元気応援券」事業	新型コロナウイルス感染拡大で地域経済が疲弊し大きな影響を受けていることから、町内飲食店等で使用できる応援券(クーポン券)を全町民へ配付し消費喚起と景気対策を図りました。	単独	R3.4.12	R3.9.24	37,094	37,094	34,000	事務用品代59,757円 (印刷用紙2本×19,684円、封筒4,338枚×4.7円) 郵便料367円×4,338件=1,592,046円 応援券8,000円×約4,180件=33,443,000円 商工会事務費2,000,000円 (チラシ・ホスター代460,000円、券作製代366,000円、封筒・用紙代570,000円、専属職員504,000円、パソコン100,000円)	令和2年度に続き、コロナ禍で疲弊した地域経済に活力(元気)を与えるため、町内飲食店及び商工会加盟店で使用できるクーポン券を全町民へ配付し、発行額34,552,000円に対して、使用額が33,443,000円で、商品券使用率が約97%となり、広く町民に利用され、町内の消費喚起と景気対策に資することができました。
8	新型コロナウイルス感染症対策旅客運送業経営支援事業	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い売上減少の影響が顕著となっている町内の旅客自動車運送事業者及びレンタカー業者に対し、経営支援を実施しました。	単独	R3.4.12	R3.6.10	1,500	1,500	1,500	3事業者=1,500,000円	コロナ禍に伴い、旅客自動車運送事業の利用割合が著しく低下したため、運送事業者等に一定の支援を行い、経営悪化が緩和されました。
9	商業活性化推進事業	新型コロナウイルスの影響を受け、地域の消費・購買意欲が停滞していることから、雄武町商工会が行っているプレミアム付き商品券販売事業へコロナ禍対策上乗せ率20%の支援を行いました。	単独	R3.4.12	R4.2.18	6,000	6,000	5,000	商品券販売額15,000,000円×コロナ対策上乗せ率20%=3,000,000円 商品券販売額15,000,000円×町単独20%=3,000,000円 ※最終実績額 6,000,000円	14,000円分の商品券のプレミアム額4,000円分を町が負担(プレミアム率40%のうち、20%分がコロナ禍上乗せ、残り20%が町単独)したことで、コロナ禍で停滞した町内の消費喚起に高い効果が得られました。 雄武町商工会が行っている「お得だっ商品券」販売事業へ通常上乗せ率20%にコロナ禍上乗せ率20%の計40%の支援を行い地域の消費・購買意欲喚起に繋がりました。
10	新型コロナウイルス感染症対策用資材購入補助事業	商工会が町内商工業者のために購入した感染症対策用資材(パーテーションなどの購入経費を補助しました。 ※令和2年3月28日付(令和2年4月11日変更)新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の13ページ⑬)	単独	R3.4.12	R4.3.10	1,000	1,000	1,000	パーテーション152組=1,595,000円 マスク130箱=78,650円 (補助上限額 1,000千円)	コロナ禍で売上げ減となり、パーテーションの増設が運営体力的に難しい町内37事業者へパーテーションを配付したことで、それぞれの事業者で感染防止対策の強化に繋がりました。 また、37事業者を含む、町内122事業者へ常時雇用員数に応じた、不織布マスクを一定数配付して、感染防止対策の意識付けに繋がりました。
11	学校給食食育推進事業	地場産食材を購入してその食材を活用した給食の提供回数を増やし、子どもたちへ「雄武の味」を伝えるとともに、コロナ禍で停滞する地場産食材の消費を応援し、地域経済の活性化を図りました。	単独	R3.4.12	R4.3.24	499	499	200	農産物 289,738円 水産物 210,100円	地場産食材を一定数購入し、コロナ禍で停滞する地場産食材の消費及び生産者への応援に繋がりました。
12	教育委員会関係感染症対策事業	新型コロナウイルスの感染リスクを軽減するため、各教育施設へ空気清浄機の設置やエアコンフィルター工事、網戸の追加などを行い、ウイルスの増殖を抑制し、二次汚染の低減を図りました。	単独	R3.6.18	R4.1.27	9,103	9,103	2,470	沢木小学校空気清浄機5台=401,500円 共栄小学校空気清浄機2台=160,600円 雄武小学校空気清浄機26台=2,087,800円 豊丘小学校空気清浄機9台=722,700円 雄武中学校空気清浄機24台=1,927,200円 雄武中学校大型扇風機4台=121,000円 町民センター空気清浄機2台=963,600円 町民センター大型扇風機2台=60,500円 町民センターモーターネット1組=128,590円 武道センター空気清浄機2台=554,400円 武道センター網戸23枚=436,678円 スポーツセンター空気清浄機3台=240,900円 スポーツセンター大型扇風機2台=60,500円 スポーツセンター網戸18枚=322,290円 図書館空気清浄機2台=554,400円 図書館エアコンフィルター工事7箇所=360,794円	コロナ禍において、コロナウイルスの除去や低減はできないが、動線が多いところに空気清浄機を配置し、アレルギー物質や他の有害物質を除去、低減させることで少しでも感染リスクを低下させることに繋がりました。 コロナ禍における換気対策として、主要な施設に網戸を増設し、より換気対策を高めました。 エアコン設置済みの施設では、より抗菌効果の高いフィルターへの交換工事を行い、コロナ禍における感染リスクを低下させることに繋がりました。

令和3年度 雄武町の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用内容

(単位:千円)

No.	事業名	事業内容(使途)	補助単独	事業開始年月日	事業完了年月日	計画総事業費	交付金対象実績事業費	交付金充当額	実施実績	効果検証
13	雄武消防庁舎内部改修事業	ソーシャルディスタンス、飛沫対策に対応した仮眠室及び執務室を消防庁舎内で配置換え(移設)するため、内部改修工事を行い、24時間体制で活動する消防職員の新型コロナウイルス感染症対策を図りました。	単独	R3.4.12	R3.8.4	18,260	18,260	18,000	仮眠室改修 5,600,000円 執務室改修 1,940,000円 電気空調廻り改修 10,720,000円	コロナ禍でも救急出動や消防活動で不特定の人と接する機会が多い、消防職員、救急隊員が勤務する消防庁舎のさらなる感染予防対策として、充分なソーシャルディスタンスに対応した仮眠室、執務室の改修工事、それに伴う電気等改修工事を行い、職員同士の感染リスクの低減、職員から他者への感染リスクの低減を図りました。
14	雄武消防庁舎ネットワーク環境移設事業	雄武消防庁舎内部改修工事にあたり、仮眠室及び執務室の配置換え(移設)に伴う、ネットワーク環境の移設工事を行いました。	単独	R3.4.12	R3.8.30	1,650	1,650	1,600	スイッチ383,000円、ポート92,000円、電源タップ20,000円、ケーブル125,000円、モジュール20,000円、情報コンセントボックス2,000円、雑資材52,000円、施工費549,000円、調査設定407,000円	No.13雄武消防庁舎内部改修事業に伴う庁舎内のネットワーク環境移設工事を行いました。
15	高規格救急自動車感染症対策備品導入事業	重症化し心肺蘇生が必要な傷病者には、絶え間ない胸骨圧迫を実施することが必要とされているため、心臓マッサージシステム(自動)を導入し、接触を最小限化することで新型コロナウイルス感染症対策を図りました。	単独	R3.4.12	R3.10.27	4,290	4,290	4,000	心臓マッサージシステム2,511,000円、専用バッテリー161,000円、バッテリー充電器151,000円、電源アダプタ37,000円、吸着カップ151,000円、緊急搬送用人工呼吸器ファンサ-1,195,000円、回路セット43,000円、ベンチサポートA-41,000円	コロナ禍において、救急車内の必要備品を配備し、救助者、救急隊員の感染リスクの低減を図りました。
16	救急隊員用感染防止衣配備事業	新型コロナウイルス感染症の傷病者搬送時に救急隊員を感染から守るため、感染防止衣を配備し、新型コロナウイルス感染症対策を図りました。	単独	R3.4.12	R3.8.5	610	610	600	感染防止衣上着150着=390,000円 感染防止衣ズボン150着=220,050円	コロナ禍において、救急隊員の感染リスク低減のため、感染防止衣を配備し、救急出動時に支障が生じないようにしました。
17	衣類除菌ロッカー導入事業	消防職員の衣服や直用資具類を除菌するため、衣類除菌ロッカーを導入し、新型コロナウイルス感染症対策を図りました。	単独	R3.4.12	R3.7.14	787	787	700	衣類除菌ロッカー4台=787,600円	コロナ禍における、消防庁舎の除菌対策のため、衣類除菌ロッカーを配備し、常に着衣の除菌を図ることができました。
18	消防団員用感染防止透湿防水ウェア配備事業	過酷な災害現場で活動する消防団員を感染から守るため、感染防止透湿防水ウェアを配備し、新型コロナウイルス感染症対策を図りました。	単独	R3.4.12	R3.11.24	895	895	800	感染防止透湿防水ウェア上下セット110着=895,400円	コロナ禍において、消防団員の感染リスク低減のため、感染防止透湿防水ウェアを配備し、有事の際の活動に支障が生じないようにしました。
19	感染症対策費	新型コロナウイルスの感染リスクを軽減するため、主要な施設へ空気清浄機の設置やエアコンフィルター工事などを行い、ウイルスの増殖を抑制し、二次汚染の低減を図りました。	単独	R3.6.18	R4.1.27	6,536	6,536	2,105	役場庁舎空気清浄機9台=809,820円 役場庁舎空気清浄機5台=326,425円 役場庁舎空気清浄機5台=274,450円 役場庁舎空気清浄機2台=89,320円 保育所空気清浄機6台=539,880円 保育所空気清浄機2台=109,780円 保育所空気清浄機2台=89,320円 児童センター空気清浄機2台=179,960円 児童センター空気清浄機1台=54,890円 除雪センター空気清浄機1台=54,890円 斎場空気清浄機1台=89,980円 宮の森荘空気清浄機1台=65,285円 消防庁舎空気清浄機1台=308,000円 消防庁舎空気清浄機1台=159,500円 消防庁舎空気清浄機4台=440,000円 役場庁舎エアコンフィルター工事3箇所=1,455,025円 消防庁舎エアコンフィルター工事3箇所=117,975円 町有施設二酸化炭素濃度計100個=970,500円 町有施設サーモカメラセット1組=128,590円 地域交流センター二酸化炭素濃度計1個=15,950円 地域交流センターサーモカメラセット2組=257,180円	コロナ禍において、コロナウイルスの除去や低減はできないが、動線が多いところに空気清浄機を配置し、アレルギー物質や他の有害物質を除去、低減させることで少しでも感染リスクを低下させることに努めました。エアコン設置済みの施設では、より抗菌効果の高いフィルターへの交換工事を行い、コロナ禍における感染リスクを低下させることに努めました。
20	新型コロナウイルス感染症検査費助成事業	感染を懸念する町民や町内に住所を有したことがあって帰省などで帰町される方を対象にPCR検査・抗原定量検査に係る費用を一部助成しました。 ※1人あたり検査費用の9割(千円未満切捨)で上限額は25,000円(限度額に達するまで何度でも可能)	単独	R3.6.8	R4.3.10	594	594	300	延べ69名=603,600円	コロナ禍において、帰省や帰町を望まれる方で、町民や町内に住所を有したことがある方を対象に、低額の自己負担で必要な検査を受けてもらい、感染を懸念する方の不安を払拭する一助となりました。
21	新型コロナワクチン接種交通費助成事業	ワクチン接種を希望する町民で交通手段が無いことを理由に接種が受けられないということにならないよう、交通手段を必要とする町民へ交通費を助成しました。	単独	R3.4.1	R4.3.16	1,242	1,242	900	接種会場までの交通費(ハイヤー料金)の実費=1,607,780円 ※2,635メートル相当	コロナ禍でワクチン接種を望まれる方が、いわゆる足がないことを理由に、接種を受けられないということにならないよう、交通費(ハイヤー料金)を助成したことで、ワクチン接種を望まれる方の一助となりました。
22	町内旅客運送事業緊急経営支援事業	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、売上減少の影響が顕著となっている町内の旅客自動車運送業者及びレンタカー業者に対し、令和3年4月から9月までのいずれかの月の売上が対前年または前々年同期比で20%以上減少している場合に経営支援を実施しました。	単独	R3.10.19	R3.11.30	1,500	1,500	1,500	3事業者=1,500,000円	コロナ禍に伴う出控えの煽りを受けた町内旅客運送業者へ、1事業者につき500千円の経営支援を行ったことで、経営悪化が緩和されました。
23	町内交通費追加助成事業	町の居宅老人交通費助成券及び重度身体障害者ハイヤー料金助成券の交付者を対象に追加の交通費助成券を交付して、ポストコロナに向けた取組みのため町内への外出や生活用品の買出しを促すとともに、コロナ禍の影響を受け集客が落ち込んだ町内旅客運送業者の利用活性化に繋がりました。	単独	R3.10.19	R4.3.18	1,090	1,090	700	事務用品代39,369円 (印刷用紙3本×13,123円) 印刷製本費154円×400件=61,600円 郵便料334.64円×400件=133,856円 追加交通費助成券500円×2,382枚=1,191,000円	町の居宅老人交通費助成券及び重度身体障害者ハイヤー料金助成券の交付者へ交通費助成券を追加交付して、コロナ禍でも集客もり気味とならないよう、町内への外出や生活用品の買出しを促し、加えてコロナ禍の煽りで集客が落ち込んだ町内旅客運送業者の経営支援に繋がりました。

令和3年度 雄武町の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用内容

(単位:千円)

No.	事業名	事業内容(使途)	補助 単独	事業開始 年月日	事業完了 年月日	計画 総事業費	交付金対象 実績事業費	交付金 充当額	実施実績	効果検証
24	町内事業者等緊急経営支援事業	北海道の支援金の申請基準が30%以上の減少が対象であり、対象とならない事業者に対して、令和3年4月から9月までのいずれかの月の売上が対前年または前々年同期比で10%以上30%未満減少している事業者へ法人で100千円、個人で50千円の経営支援を実施しました。	単独	R3.10.19	R3.12.23	500	500	500	法人2事業者=200,000円 個人6事業者=300,000円	対象事業者はもっと多いと想定していましたが、実際によく聞き取りしてみると、北海道の制度の対象となり、そちらを優先したことで、件数的には少なかつたものの、コロナ禍において、北海道の制度の対象とならない事業者をカバーすることができ、対象事業者の経営支援の一助となりました。
25	ホテル日の出岬運営支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売り上げが減少したホテル日の出岬に対して、雇用維持と経営の安定化及び感染症対策のため支援しました。	単独	R4.3.8	R4.3.30	8,000	8,000	8,000	ホテル日の出岬へ支援 8,000,000円	令和3年度もコロナ禍に伴い、本来の形での営業やPR活動が行えず、客足もある程度回復傾向にあるものの、ホテル運営に苦慮していたことから、ホテル日の出岬へ一定の支援を行い、雇用維持と経営安定化の一助となりました。
26	新型コロナウイルス感染症自宅療養者等支援事業	感染拡大時の医療機関のひっ迫状況を鑑み、自宅療養者が増加した場合、北海道から自治体への協力が必要とされるので、貸与住居の確保と健康管理などを支援しました。	単独	R4.1.19	R4.3.17	645	645	300	貸与住宅備付物品: テレビ2台=94,600円、冷蔵庫2台=61,380円、洗濯機2台=64,680円、掃除機2台=17,820円、電子レンジ2台=19,360円、ストーブ2台=373,120円、カーテン3組=15,686円	自宅療養者の利用が数件あり、貸与住宅の確保と住宅備付の物品を揃えたことで、利用者に不便なく、療養期間を過ごしてもらうことができ、特に同居家族がいる方にとっては、安心して過ごしてもらえました。
27	高齢者等の冬の生活支援事業(追加分)	在宅で生活する高齢者世帯や低所得世帯に対し、冬期における暖房用燃料等の購入費の一部を助成していますが、今冬もコロナ禍にあって、在宅割合が増えると想定されるので、「追加分」として別立てで助成しました。	単独	R3.12.21	R4.3.30	2,893	2,893	2,500	郵便料230件=98,520円 引換券1,000円×3,353枚=3,353,000円	町の既存事業として、冬期における暖房用燃料等の購入費の一部を助成していますが、コロナ禍でのいわゆる「巣ごもり」による在宅割合の増加を考慮し、追加分として230件に15,000円(1,000円券15枚)を交付したところ、使用率が97%と高く、冬期の燃料代等の一助になりました。
28	子育て世帯臨時特別給付金給付事業(独自分)	コロナ禍における子育て世帯を支援するため、国の要件に基づき臨時特別給付金を支給しますが、所得制限で対象外となる世帯に対し、独自分として支給しました。	単独	R3.12.21	R4.3.31	6,800	6,800	3,000	給付金1人あたり100,000円×68人=6,800,000円	国の要件では支給できない範囲を町独自分としてカバーしたことで、コロナ禍における町内の子育て世帯への支援に繋がりました。
29	新型コロナワクチン接種業務協力金	新型コロナワクチン接種の実施に際し、町内の民間医療機関においては、通常診療とは別に人員と接種スペース確保のため、多大な協力を得ていることから、当該医療機関に対して協力金の支援をしました。	単独	R3.9.17	R4.10.5	1,000	1,000	1,000	民間医療機関への協力金: 接種体制構築支援 300,000円 体制維持支援 700,000円	協力金の支給により町内の民間医療機関の新型コロナワクチン接種体制の整備が進み、民間医療機関におけるスムーズな接種の実施とコロナ禍における安定的な運営に繋がりました。
30	庁舎内ネットワーク環境構築事業	コロナ禍で各種会議及び研修、説明会がZOOM等、WEB開催の増加に伴い、庁舎内でさらに対応できる場所を確保するための無線LANアクセスポイントなどの構築工事を行いました。	単独	R4.3.8	R5.3.29	2,255	2,255	2,255	雄武町役場3階Wi-Fi環境整備 1,210,000円 雄武町役場2階ネットワーク環境整備 1,045,000円	コロナ禍でウェブ開催による各種会議及び研修会等の増加により、対応した執務室を常設し、オンラインによる参加がしやすくなりました。
31	感染症対策費(追加分)	コロナ禍において避難所を開設する場合、密を避けるため指定避難所以外の町有施設も使用することが想定され、停電時でも対応できるように、発電機を配備しました。	単独	R4.3.8	R4.4.22	1,155	1,155	1,155	発電機5台 1,155,000円	コロナ禍での災害時に備え、避難所の密を避けるため指定避難所以外の町有施設も使用できるように発電機を配備しました。
32	雄武町介護サービス事業特別会計繰出金(追加分)	高齢者福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策のひとつとして、特別養護老人ホーム(ショートステイ棟)及びデイサービスセンターへの冷暖設備(エアコン)の工事を行うため、事業会計へ繰出金を追加支出しました。	単独	R4.3.8	R4.3.24	27,500	27,500	25,000	雄武町介護サービス事業特別会計繰出金 27,500,000円	繰出金を活用して、特別養護老人ホーム(ショートステイ棟)及びデイサービスセンターへの冷暖設備(エアコン)の工事を行いました。当初整備しきれなかった施設の細部に渡り、今回の繰出金で工事を行うことができ、施設利用者、職員などが、コロナ禍でも施設内でより快適に過ごすことができ、かつ利用者の体調管理等も行いやすくなりました。
33	保育所環境設備整備事業	保育所既存の0歳児室にのみ、乳幼児に対応できる、給湯と沐浴設備を常備していますが、当該室が過密になっているので、対象児、保育士のソーシャルディスタンスを確保するため、保育所内の別の部屋である、一時保育室にも乳幼児対応できるよう、給湯、沐浴設備を整備しました。	単独	R4.3.8	R4.8.10	1,397	1,397	1,397	一時保育室改修 1,397,000円	0歳児室にのみ常備していた給湯と沐浴設備を一時保育室にも設置したことにより、対象児、保育士のソーシャルディスタンスを確保し、感染リスクを低下させることに繋がりました。
34	町民センター施設整備事業	コロナ禍で各種会議及び研修、説明会がZOOM等、WEB開催の増加に伴い、教育委員会、学校関係者が対応できる場所を確保するためのWi-Fi環境構築と接続機器の整備を行いました。	単独	R4.3.8	R5.3.29	3,091	3,091	3,091	町民センター情報ネットワーク環境整備 1,980,000円 ノートパソコン 132,000円、ビデオカメラ 44,000円、大型モニター 935,000円	コロナ禍でウェブ開催による各種会議及び研修会等の増加により、教育委員会、学校関係者が対応できる環境や接続機器を整え、オンラインによる参加がしやすくなりました。
35	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業及び各学校等における感染症対策等支援事業)町内各小中学校の児童生徒・教職員等の感染症対策に係る物品等を揃え学校教育活動の継続を支援しました。	補助	R4.3.8	R5.3.29	3,670	3,695	1,870	雄武小学校(消毒薬、マスク、学習用消耗品・備品) 1,364,610円 沢木小学校(消毒薬、マスク、学習用消耗品・備品) 895,070円 共栄小学校(消毒薬、マスク、学習用消耗品・備品) 913,550円 雄武中学校(消毒薬、マスク、学習用消耗品・備品) 467,170円 新型コロナウイルス抗原検査キット 55,000円	コロナ禍において、町内各小中学校に必要な物品を揃えたことで、感染予防対策や、コロナ禍での学校活動を行うことができました。

計 176,970 176,995 147,543